

第33回日本臨床工学会  
ハンスオンセミナー3

～SBT実践～

人工呼吸器離脱に向けたアセスメント



荒田 晋二 先生  
JA広島総合病院  
臨床工学科 主任



黒田 恭介 先生  
旭川赤十字病院  
医療技術部 臨床工学課 係長



花岡 正志 先生  
神戸大学医学部附属病院  
医療技術部 臨床工学部門



山下 大輔 先生  
熊本大学病院  
医療技術部ME機器技術部門



梶原 吉春 先生  
東大和病院  
臨床工学科 技士長



藤江 建朗 先生  
森ノ宮医療大学  
医療技術学部 臨床工学科



沖島 正幸 先生  
JA愛知厚生連 豊田厚生病院  
臨床工学室 課長



石井 宣大 先生  
東京慈恵会医科大学附属 柏病院  
臨床工学部 技士長

日時：2023年7月22日(土)

14:30~16:30

開催場所：広島国際会議場 B1F 会議運営事務室1・2

定員：40名(1グループ5名×8グループ)



お申込みはコチラ↑

# ～SBT実践～ 人工呼吸器離脱に向けたアセスメント

## 【内容】

座学：SBTの重要性・これからCEに求められること

SBT実践：実際に機械を触りながらアセスメント力を向上

みなさん、SBTという言葉聞いたことはありますか？

SBTとは「自発呼吸トライアル」の略であり、人工呼吸による補助がない状態に患者が耐えられるかどうか確認するための試験のことです。

令和4年度の診療報酬改定によってSBTの実施によって1日につき60点の離脱試験加算が取得できるようになり、普及しつつあります。

SBT開始基準を満たせば、人工呼吸器の設定をCPAPまたはTピースに変更し、30分から2時間観察し、SBT成功基準を満たせば抜管を考慮します。

本セミナーでは、人工呼吸器の設定変更を行なってSBTを実施するだけでなく、SBT実施中にどのような項目を評価したら良いのか、自発呼吸パターンやバイタルサイン、呼吸メカニクスの変化等についてハンスオンを通して学び、SBTを実践するためのスキルを身につけることを目的とした内容になっています。

呼吸療法に興味がある方、実践して間もない方、積極的に介入されている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

JA広島総合病院 臨床工学科 荒田晋二

## 問い合わせ先

日本光電工業株式会社 中国支店 榊原

(☎：050-3819-4763 FAX：082-237-9051)

または弊社営業担当者までご連絡ください。

キャンセルされる場合は、問い合わせ先までご連絡ください。



お申込みはコチラ↑